

令和7年度福島市水道事業会計予算

～ 創造的な発想で次の100年へ ～

令和7年度福島市水道事業会計当初予算の主な内容

1 予算（案）概要

2 ふくしま水道事業ビジョンに基づく主な事業について

<参考>

- ◆ 収益的収入及び支出予算額
- ◆ 資本的収入及び支出予算額



1 予算（案）概要

（1）予算規模

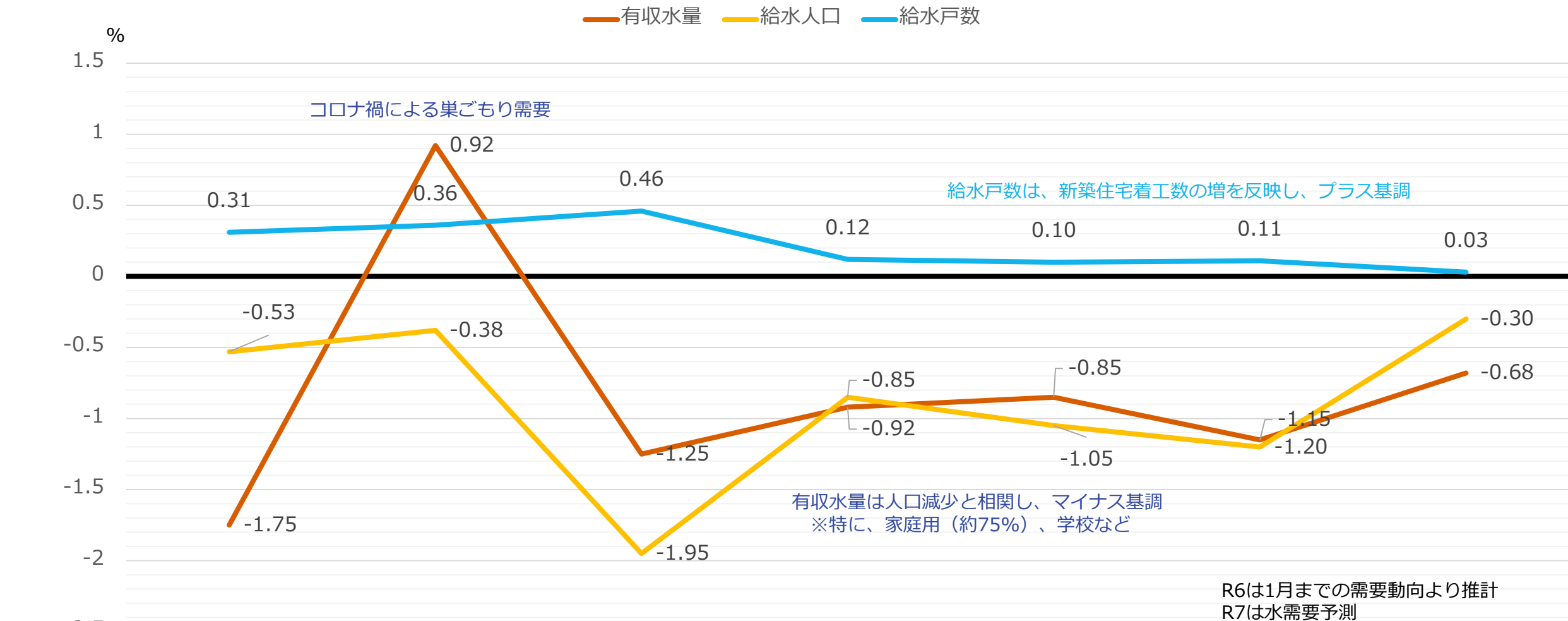
収益の収支

項 目	金 額
収益の収入	76億1,380万5千円
収益の支出	75億4,005万1千円
純 損 益	7,375万4千円

資本の収支

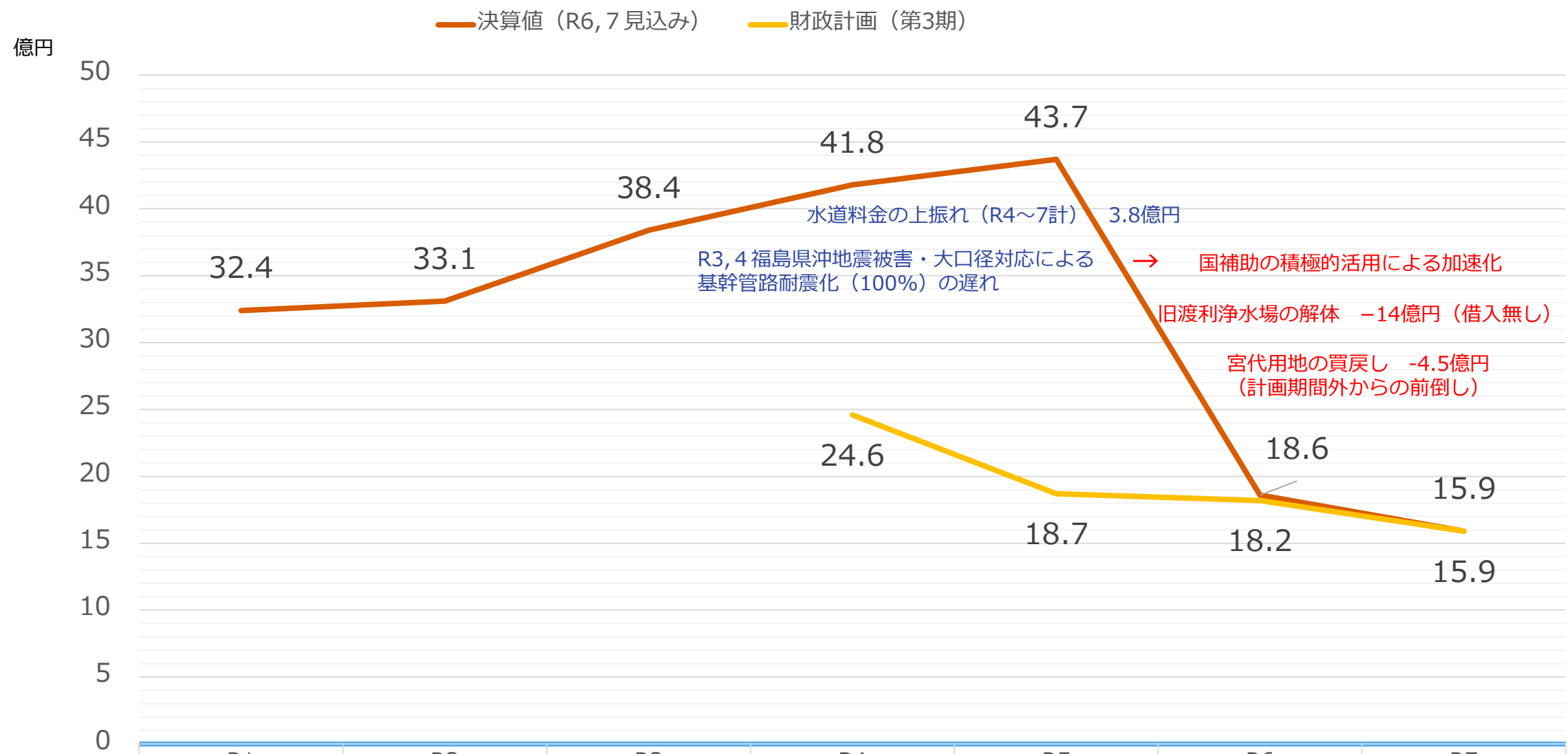
項 目	金 額
資本の収入	13億2,038万7千円
資本の支出	32億8,529万8千円
不 足 額	△19億6,491万1千円

水道料金の推移（対前年度比 %）



	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
有収水量	-1.75	0.92	-1.25	-0.92	-0.85	-1.15	-0.68
給水人口	-0.53	-0.38	-1.95	-0.85	-1.05	-1.20	-0.30
給水戸数	0.31	0.36	0.46	0.12	0.10	0.11	0.03

年度末繰越財源（投資資金）の推移



決算値（R6, 7 見込み）	32.4	33.1	38.4	41.8	43.7	18.6	15.9
財政計画（第3期）				24.6	18.7	18.2	15.9

(2) 収益的収入及び支出予算額（維持管理） 主な事業

新

… 新規事業

拡

… 一部新規及び事業の拡充

① 水管橋塗装替工事ほか

38,453 千円

さくら橋添架管400mm塗装替工事

外面腐食を防止ため、塗装替えを行います。

鋼管維持管理計画に基づく、定期的メンテナンスにより、施設の長寿命化を図ります。



② 用途廃止施設整理事業

579,700 千円

旧渡利浄水場ほか施設撤去工事

(空き家対策総合支援事業 補助額：14,139千円)

遊休資産を解体・整理し、利活用を図ります。

用途廃止施設整理事業（継続費）事業期間：令和5年度～8年度
総事業費：1,759,945千円



(2) 収益的収入及び支出予算額（維持管理） 主な事業

新 …… 新規事業 拡 …… 一部新規及び事業の拡充

③ 配管内部洗浄業務委託ほか

13,384 千円

新

配管内部洗浄業務委託

特殊に生成されたアイスシャーベットを用いた、新たな配管内部の洗浄方法を取り入れます。

内部の夾雑物を除去し、良質な水道水の維持に努めます。

これまでの職員による洗管作業と比較し、短時間での作業となり、効率化が図られます。



④ 災害対策事業

4,361 千円

新

災害時応急給水拠点整備

受水槽を有効活用し、市民共創で運用する応急給水拠点の整備に着手します。

令和7年度はNCVふくしまアリーナの受水槽を改修します。



▲連通管に給水栓を設置



(3) 資本的収入及び支出予算額（建設改良） 主な事業

新 … 新規事業 拡 … 一部新規及び事業の拡充

拡 ① 土湯地区水道施設整備事業 222,200 千円

企業団水（ダム水）への供給に切り替え、土湯温泉町地区の安定供給を図ります。

令和7年度から管路工事や配水池等築造工事に着手し、令和10年度の給水開始を目指します。

DB方式で効率的な事業進捗と確実な施工管理を図ります。

（継続費）事業期間：令和6年度～9年度
総事業費：3,384,700千円

② 災害対策事業

拡 給水タンク車購入(3,000ℓ) 30,751 千円

新 設置型組立式タンクの配備(1,000ℓ 3基)

給水タンク車を追加配備し、応急給水体制を強化します。

（現有 2,000ℓ 3台、1,800ℓ 1台）

給水所に組み立て式給水タンクを設置し、給水タンク車との連動で、効率的な給水作業を実施します。



給水タンク車

(3) 資本的収入及び支出予算額（建設改良） 主な事業

新

… 新規事業

拡

… 一部新規及び事業の拡充

③ 老朽管更新事業

1,330,912 千円
(3月補正前倒し：297,031千円)

- ・ 令和7年度更新延長：7.0km
- ・ 基幹管路耐震適合率：100% ※全国平均 42.3% (R4末)

令和7年度末で、基幹管路の耐震適合率100%を達成します。

引き続き、アセットマネジメントによる更新需要の平準化を図ります。



新

上下水道総合地震対策事業

上下水道耐震化計画を策定し、重要施設への配水管の耐震化を図ります。（補助率 1/4→1/3 に引き上げ）

令和7年度末で耐震適合率100%となる基幹管路を起点に、救急医療機関に繋がる管路から優先的に実施し、沿線の避難所を取り込み、効果的に、上下水道一体で整備を進めます。

○実施設計業務 対象施設

・ 県立医大 ・ わたり病院 ・ 西部病院

2 ふくしま水道事業ビジョンに基づく主な事業

<基本方針1>

安全でおいしい水の供給

2億8,084万1千円

<基本方針2>

災害に強い水道の構築

18億7,431万5千円

<基本方針3>

持続可能な水道経営

15億4,566万6千円

<基本方針4>

地球にやさしい水道へ挑戦

4,082万1千円 (支出)

142万5千円 (収入)

基本方針1 安全でおいしい水の供給

- 10 -
6事業 2億8,084万1千円

◆水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。

(1)水質管理の徹底 280,841千円

【主な事業】

- ① 定期的な水質検査 13,854千円
- ② 水質確保のための排水施設整備 6,328千円
- 新 ③ ロボット草刈機の導入及び受・配水池の敷地内環境整備 56,429千円
- ④ 鉛製給水管の解消促進（補助金交付制度） 500千円
- ⑤ 水道施設（全86施設）の運転管理業務の共同発注 110,076千円
- ⑥ 配管内部洗浄業務委託ほか（再掲） 13,384千円

アイスシャーベットを使用した「アイスピグ洗浄工法」にて水道管内部の夾雑物（錆・シールコート等）を除去することで、良質な水質の維持や、安全な水の安定供給に努めます。



③ロボット草刈機

基本方針２ 災害に強い水道の構築

◆適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。

11事業 18億7,431万5千円

(1)施設更新と維持管理の強化 1,580,909千円

【主な事業】

新

- ① 老朽管更新事業に係る工事・設計委託など（国庫補助分・単独分）（再掲） 1,274,102千円
（3月補正前倒し：297,031千円）
- ② 上下水道総合地震対策事業（再掲） 56,810千円
- ③ 小規模簡易DB方式による地元工事業者の設計技術の向上と育成
- ④ 受・配水池の修繕及び電気設備取替など水道施設の保全・更新 124,739千円
- ⑤ 水道施設情報管理システムの運用・保守 33,714千円

(2)水道施設の機能強化 34,526千円

【主な事業】

- ① 水道施設耐震化事業（阿武隈川水管橋） 31,006千円
- ② 西部地区上水道整備事業 3,520千円



① 阿武隈川水管橋

基本方針２ 災害に強い水道の構築

◆適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。

11事業 18億7,431万5千円

(3)災害対策の強化 258,880千円

【主な事業】

① 平和通り飲料水兼用耐震貯水槽を使用した応急給水訓練の実施 152千円
第一小学校の児童や町内会、近隣事業所と連携

② 飲料水兼用耐震貯水槽、緊急遮断弁の維持管理 1,884千円

③ 土湯地区水道施設整備事業（再掲） 222,200千円
新たに企業団水（ダム水）供給により、土湯温泉町地区の安定供給を図ります。
令和7年度は、送配水施設の整備に着手するほか、施設用地の購入や移転登記などを進めます。

④ 応急給水体制の強化（再掲） 34,038千円

給水タンク車や設置型組立式タンクの追加購入、NCVふくしまアリーナの受水槽を有効活用し、災害時における応急給水体制を強化します。

給水タンク車購入には、国補助及び令和7年度から創設される公営企業債（防災対策事業※）を充当します。

※元利償還金の70%を地方財政措置（補助の場合は50%）



① 応急給水訓練の様子

基本方針3 持続可能な水道経営

15事業 15億4,566万6千円

◆お客さまのニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。

(1)経営基盤の強化 1,463,312千円

【主な事業】

拡

① 有収率向上対策 54,703千円
漏水調査業務委託、人工衛星画像を用いたAIによる漏水リスク評価

② 水道未加入世帯への加入促進（工事助成・資金融資あっせん制度） 224,269千円

新

③ 財務会計システムと連携した電子決裁システムの本格運用 2,093千円
コピー用紙の使用量抑制、会計処理・文書管理業務の効率化を図ります。

④ 廃止施設の解体撤去（旧渡利浄水場）（再掲）579,700千円

⑤ 水道料金等徴収業務委託、配給水管緊急修繕事業 455,950千円

(2)組織力の強化 40,813千円

【主な事業】

① 各種研修による人材育成・技術継承の推進、先進技術等視察研修 3,561千円

② 資格取得等助成制度の拡充 501千円

基本方針3 持続可能な水道経営

15事業 15億4,566万6千円

◆お客さまのニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。

(3)戦略的な広報広聴の推進 40,224千円

【主な事業】

- 新**
- ① 水道通水100周年記念事業 5,097千円
 - ② ももりんウォータークラス、出前教室・出前講座（小学4年生・一般市民） 60千円
 - ③ 水道まつりの開催 451千円
 - ④ 水道局広報紙「SuRiKaMi」の発行（年4回） 8,651千円
 - ⑤ ペットボトル「ふくしまの水」を活用した水需要喚起 15,769千円

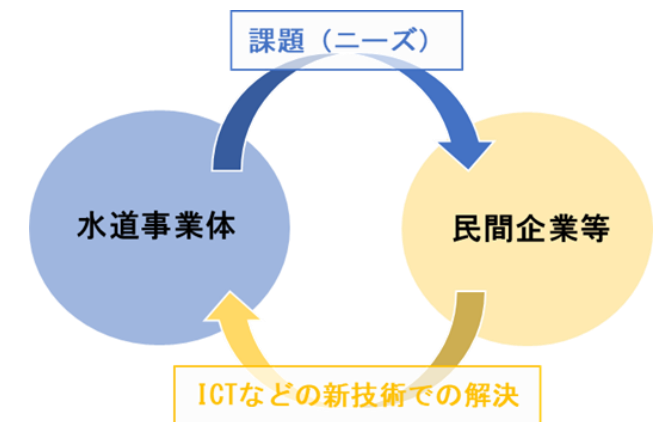


①100周年記念式典イメージ

(4)水道事業の多様な連携の推進 1,317千円

【主な事業】

- 拡**
- ① 水道ICT情報連絡会との連携 145千円
 - ② ふくしま田園中枢都市圏構成市町村等との連携 1,108千円
 - ・ 水道施設運転管理業務を企業団・川俣町と共同発注(再掲)
 - ・ 非常用給水袋を構成市町村と共同購入
 - ③ 撤去メーター分解分別作業委託 64千円
障害者就労施設との連携



基本方針4 地球にやさしい水道へ挑戦

◆良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。

5事業

支出

142万5千円⁻¹⁵

収入

4,082万1千円

(1)水源周辺環境の保全 105千円

【主な事業】

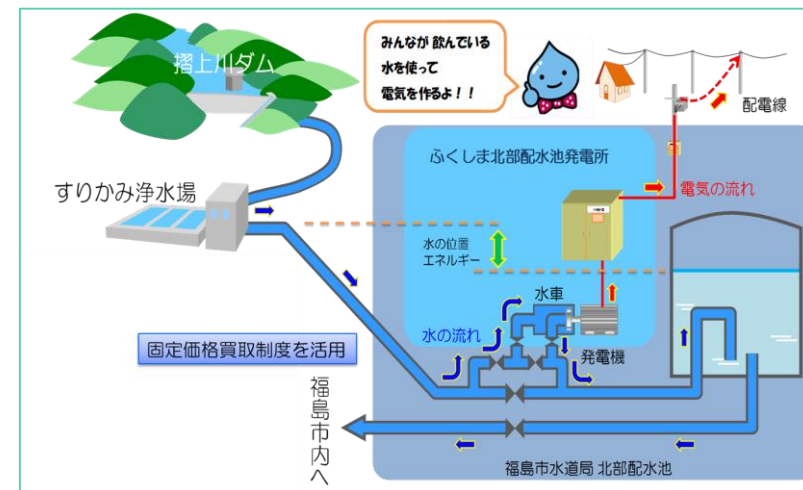
- ① 水源保全活動団体への助成 105千円

(2)環境負荷の低減 収入:16,600千円 支出:1,320千円

【主な事業】

- ① 北部配水池における小水力発電事業 3,221千円(収入)
R5.4月に2箇所目となる中央部受水池についても基本契約を締結。
R9年度の運用開始を予定しています。
- ② 水インフラのCO2削減設備導入支援事業（環境省補助金） 37,600千円(収入)
水道設備（ポンプ）をCO2削減のため高効率設備に更新します。
対象事業：舘ノ前加圧ポンプ所改修事業（再掲） 補助率：1/2
- ③ 水道施設LED化事業 1,320千円 施設管理センター・南向台配水池
- ④ ペーパーレスオフィスへの挑戦 2030年までに半減 55万枚⇒27.5万枚
財務会計システムと連携した電子決裁システムの本格運用など

新



①北部配水池発電所

<参考>

水道料金の算定 R6の需要動向から算定 対R6（見込み）：基本料金（戸数の増）+0.03% 水量料金（人口減少）-0.73%
 物価上昇見込み ・工事 5.3% ・業務委託 2.8% ※「政府経済見通し概要」等を参考にした

◆ 収益的収入及び支出予算額

(単位：千円)

項 目	令和7年度当初 (A)	令和6年度当初 (B)	比較増減 (A) - (B)
収入	7,613,805	7,638,062	△24,257
水道料金	6,915,120	6,906,614	8,506
一般会計補助金	57,733	57,664	69
加入金	133,045	150,964	△17,919
長期前受金戻入	291,064	325,034	△33,970
その他収入	216,843	197,786	19,057
支出 (A)	7,540,051	7,685,778	△145,727
受水費	2,489,440	2,480,712	8,728
修繕費、維持管理費等	1,503,755	1,588,731	△84,976
減価償却費等	2,493,529	2,730,011	△236,482
人件費	817,505	677,386	140,119
支払利息等	235,822	208,938	26,884
純損益	73,754	△47,716	121,470

◆ 資本的収入及び支出予算額

(単位：千円)

項 目	令和7年度当初 (A)	令和6年度当初 (B)	比較増減 (A) - (B)
収入	1,320,387	1,098,688	221,699
企業債	1,013,400	823,600	189,800
国庫補助金	212,091	151,643	60,448
一般会計補助金	7,582	30,136	△22,554
負担金	87,314	93,309	△5,995
支出 (B)	3,285,298	3,519,241	△233,943
建設改良費	731,548	1,219,500	△487,952
老朽管更新事業費	1,274,102	1,061,165	212,937
土湯地区水道施設整備事業費	222,200	175,934	46,266
企業債償還金	954,318	1,052,944	△98,626
その他支出	103,130	9,698	93,432
資本的収支不足額	△1,964,911	△2,420,553	455,642
年度末繰越財源	1,591,712	1,864,729	△273,017

※年度末繰越財源については3月補正後の数値となっています。

◆ 資本的収入及び支出予算額（補正込み）

（単位：千円）

項 目	令和7年度（A）	令和6年度（B）	比較増減（A）-（B）
収入	1, 587, 484	1, 240, 313	347, 171
企業債	1, 207, 900	823, 600	384, 300
・うち3月補正分	194, 500	0	
国庫補助金	284, 688	293, 268	△8, 580
・うち12月補正分		53, 393	
・うち3月補正分	72, 597	88, 232	
一般会計補助金	7, 582	30, 136	△22, 554
負担金	87, 314	93, 309	△5, 995
支出	3, 582, 329	4, 247, 910	△665, 581
建設改良費	731, 548	1, 219, 500	△487, 952
固定資産購入費	46, 320	9, 698	36, 622
老朽管更新事業費	1, 571, 133	1, 789, 834	△218, 701
・うち12月補正分	0	273, 713	
・うち 3月補正分	297, 031	454, 956	
土湯地区水道施設整備事業費	222, 200	175, 934	46, 266
上下水道総合地震対策事業費	56, 810	0	56, 810
企業債償還金	954, 318	1, 052, 944	△98, 626